

元環境事務次官（日本製鉄顧問、三千年の未来会議代表理事）の
中井徳太郎氏が、株式会社クリーンプラネット顧問に就任
～量子水素エネルギー発熱装置の量産開発に向けて～



元環境事務次官（日本製鉄顧問、三千年の未来会議代表理事）
中井 徳太郎氏

株式会社クリーンプラネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：吉野英樹、以下「クリーンプラネット」）は、2025年8月1日付で、元環境事務次官（日本製鉄株式会社顧問／公益財団法人三千年の未来会議代表理事）の中井徳太郎氏が顧問に就任したことをお知らせいたします。

クリーンプラネットは、安全・安定・安価クリーンエネルギーである「量子水素エネルギー（Quantum Hydrogen Energy: QHe）」の実用化に取り組むスタートアップ企業です。QHe は、都市ガスをはるかに上回る発熱密度を持ちながら、二酸化炭素（CO₂）を一切排出せず、水素の使用量もごくわずか。持続可能な未来を支える、まったく新しい形のエネルギーとして注目されています。

現在、QHe を用いた発熱装置の量産開発が本格化しており、実証を経て社会実装のフェーズへと進もうとしています。こうした中、政策と産業の両面に深い知見を持ち、日本製鉄顧問として製造現場とも接点を持つ中井徳太郎氏を顧問に迎えることで、量産開発と制度設計を並行して進める体制を強化いたします。QHe が真に社会を変えるエネルギーとなるよう、開発と普及を加速してまいります。

<中井徳太郎氏プロフィール>

日本製鉄株式会社顧問／公益財団法人三千年の未来会議代表理事／元環境事務次官

1962年生。1985年東京大学法学部卒業後、大蔵省入省。在英国日本大使館一等書記官、富山県生活環境部長、財務省広報室長、東京大学医科学研究所教授、理財局計画官、財務省主計官等を経て、東日本大震災後の2011年7月環境省に。会計課長、秘書課長、廃棄物・リサイクル対策部長、総合環境政策統括官等を経て、2020年7月環境事務次官。地域循環共生圏構想、2050年カーボンニュートラル目標、カーボンプライシングの推進に深くコミットしてきた。2022年7月退官後、日本製鉄顧問、公益財団法人三千年の未来会議代表理事。

本件のお問い合わせ先： 株式会社クリーンプラネット PR 室 pr@cleanplanet.co.jp

www.cleanplanet.co.jp